

令和元年度 第2回 海老名市総合教育会議 次第

日時：令和元年7月6日（土）午前10時～

場所：高座クリーンセンター 環境プラザ 大会議室

1 開会

2 あいさつ

3 協議事項

- (1) 教育大綱について
- (2) 修学旅行について
- (3) 学校給食について

4 学校紹介（門沢橋小学校）

5 閉会

令和元年度

第2回 総合教育会議

令和元年7月6日（土）午前10時
高座クリーンセンター 環境プラザ 大会議室

海老名市教育大綱

平成31年4月 新教育大綱策定

目標 「しあわせをはぐくむ教育」の
まち海老名

基本的な考え方

わたしたちは「ひびきあう教育」の理念のもとに

- 「子どもたち」の
 - 「家庭・学校・地域」の
- しあわせをめざします

海老名市教育大綱

取り組み

- ◆子どもたちの今と
将来のしあわせのための教育
- ◆子どもと大人がともに成長する社会
- ◆家庭・学校・地域のための
よりよい環境づくり

海老名市教育大綱

計画期間 4年間
(平成31年4月から令和5年3月まで)

教育施策の3つの柱

- 1 「えびなっ子しあわせプラン」の推進
- 2 子どもと大人がともに学ぶ
生涯学習の充実
- 3 新たな学校施設への取組と
子育て環境の充実

海老名市教育大綱

「えびなっ子しあわせプラン」の推進

- 新しい授業スタイルの確立による
学力の向上
- 社会に開かれた教育課程の編成
- 小中一貫教育
コミュニティ・スクールの推進
- 英語教育及び国際理解の推進
- 学校ICTの環境整備と活用

海老名市教育大綱

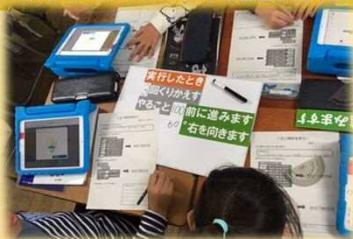
「えびなっ子しあわせプラン」の推進

英語教育及び国際理解の推進

外国語指導講師（ALT）の配置人数を
9名から**13名**に増やし、さらなる英語教育の充実を
図ります。



学校ICTの環境整備と活用



高度情報化社会の中で生きる
子どもたちにコンピュータを
活用した教育を行い、
情報活用能力等のさらなる
向上を図ります。

子どもと大人がともに学ぶ生涯学習の充実

- 子ども・学校支援事業の実践
- 子どもと大人がともに学ぶ
社会教育計画の再構築
- 生涯学習講座の充実
- 「ひろがる つながる みんなの図書館」
への進化
- 相模国分寺跡等、
文化財の積極的な活用

子どもと大人がともに学ぶ生涯学習の充実

子ども・学校支援事業の実践

地域の子どもは地域で守る、
育てる、支援する 体制を
継続します。



生涯学習講座の充実



様々な分野のテーマを取り上げ、
学びの場・交流の場として講座
を開催し、社会教育の充実を図
ります。

新たな学校施設への取組と 子育て環境の充実

- 「持続可能」で「夢」のある学校施設整備
- 健康・安全安心のための環境整備
- 学校給食のあり方の検討
- 義務教育に係る公費負担のあり方の検討
- 放課後児童クラブ（学童保育）の充実

新たな学校施設への取組と 子育て環境の充実

「持続可能」で「夢」のある学校施設整備



学校施設再整備計画に基づき、学校施設整備を計画的に進めます。

健康・安全安心の ための環境整備

児童下校時、安全パトロールの強化に努めます。



海老名市教育大綱

わたしたちは「ひびきあう教育」の理念のもとに 「しあわせをはぐくむ教育」のまち海老名

- 子どもたちの
- 家庭・学校・地域の

しあわせ をめざします

子どもたちの今と将来のしあわせのための教育

子どもと大人がともに成長する社会

家庭・学校・地域のためのよりよい環境づくり

に取り組みます

教育施策の3つの柱

「えびなっ子 しあわせプラン」の推進

- 新しい授業スタイルの確立による学力の向上
- 社会に開かれた教育課程の編成
- 小中一貫教育、コミュニティ・スクールの推進
- 英語教育及び国際理解の推進
- 学校ICTの環境整備と活用

子どもと大人がともに学ぶ生涯学習の充実

- 子ども・学校支援事業の実践
- 子どもと大人がともに学ぶ社会教育計画の再構築
- 生涯学習講座の充実
- 「ひろがる つながる みんなの図書館」への進化
- 相模国分寺跡等、文化財の積極的な活用

新たな学校施設への取組と子育て環境の充実

- 「持続可能」で「夢」のある学校施設整備
- 健康・安全安心のための環境整備
- 学校給食のあり方の検討
- 義務教育に係る公費負担のあり方の検討
- 放課後児童クラブ（学童保育）の充実

家庭・学校・地域・行政の力を結集して

修学旅行について

令和元年度の小中学校修学旅行の状況

小学校（13校）

- 学 年 小学6年生
- 行き先 日光方面
- 実施時期 9月上旬から10月中旬
- 日 程 1泊2日
- 宿泊先 ホテルまたは旅館
- 代 金 18,000～26,000円

修学旅行について

■令和元年度の小中学校修学旅行の状況

中学校(6校)

- 学 年 中学3年生
- 行き先 京都・奈良、喜多方・南会津、
広島、青森県南部町など
- 実施時期 5月中旬から6月上旬
- 日 程 2泊3日
- 宿泊先 ホテルまたは民泊
- 代 金 50,000～59,000円

修学旅行について

■令和元年度より市から補助金交付

- 目的 保護者の経済的な負担の
軽減を図るため

補助金額

小学校 参加児童に10,000円(概算払い)

中学校 参加生徒に15,000円(確定払い)

修学旅行について

■修学旅行検討委員会

➤ 検討事項

- (1) 今後の修学旅行の在り方に関する事
- (2) 修学旅行にかかる保護者負担経費に関する事

➤ 検討委員

PTA会長会代表、小中学校保護者代表
小中学校校長会代表、教頭会代表、
総括教諭代表、教育委員会 計13名

修学旅行について

■第1回修学旅行検討委員会(4月23日)

➤ 協議事項

- ◇ 小中学校修学旅行の現状について
- ◇ 小中学校修学旅行の課題について
 - ・保護者負担経費を抑制したい
 - ・民泊や体験学習に差異が生じている
 - ・生徒の体調管理や安全面の配慮が必要
 - ・小学校はバスの乗車人数によって経費が大幅に異なる
 - ・学校が保護者へ修学旅行のねらいを説明する

修学旅行について

■第2回修学旅行検討委員会(6月10日)

➤ 協議事項

- ◇ 旅行会社からのヒアリングについて
 - ・経費削減に向けた契約方法等
 - ・情報提供
- ◇ アンケートの実施内容について
 - ・修学旅行に参加した中学3年の生徒と保護者に対して7月上旬にアンケートを実施する

学校給食について

■ 学校給食の現状

小学校 12校

- ◇ 調理: 食の創造館(指定管理者)センター方式
- 配食: おかず 7,600食 ごはん3,900食
- 献立: 栄養士監修 完全給食
- 配送: Aコース・Bコース

東柏ヶ谷小学校

- 調理: 校内施設(調理業務委託) 自校方式
- 配食: おかず・ごはん 470食
- 献立: 栄養士監修 完全給食

学校給食について

■ 学校給食の現状

中学校 6校

- ◇調理: 山路フードサービス(業者委託)
- 方式: 給食弁当注文方式(デリバリー方式)
: 持参弁当・ミルク給食併用
- 喫食率: 18.1%(4月~6月平均)
(1日/喫食数600食~700食)
- 献立: 栄養士監修 完全給食
- 保護者負担: 1食 250円



学校給食について

■ 給食検討委員会設置の趣旨



学校給食について

■アンケートの実施（7月 中旬）

- 目的 「おいしい給食」を提供
 - ★児童生徒、保護者のニーズの探求
 - ★給食(昼食)の諸課題を検討するため
- 対象
 - 小学生 中学生 教職員（質問紙）
 - 保護者（学校メール）

学校給食について

■第1回 給食検討委員会

情報の共有

- 検討委員会設置の趣旨
- 給食(昼食)の現状
 - 小学校給食・中学校昼食・給食施設
- アンケートの実施

★講師 鎌倉女子大学 家政学部
管理栄養学科 大中 佳子 准教授

学校給食について

■今後の検討課題

小学校給食

- 「おいしい」給食の提供
 - 地産池消
 - 献立の工夫
 - 給食費(1食242円)
- 給食指導
 - 食育の充実
 - 健康教育

中学校給食(昼食)

- 昼食スタイルの充実
 - 社会情勢へ適応
 - 嗜好の多様性へ対応
- 給食の可能性
 - 注文弁当方式の検討
 - 保護者負担軽減
 - 配食方法
 - 給食施設
 - 教育課程